

●竹蛇籠の製作

先週までのとりくみで仕上げた蛇籠の数は31本でした。みんなが力を合わせ述べ77人の力で、ものすごい成果をあげることにになりました。今週には10本増えて41本になりました。約20日間で41本も作り上げられたのです。昨年大変だった底辺や1本追加する六つ目編みで最も難しいところもクリアされていまいした。蛇籠づくりに挑むことになって、福井さんがいるから安心だという声がありました。相当信頼されていたのです。ところが、福井さんの御主人が思いもしない大病で参加できないとなり、みんなが覚悟を決めた結果ではないでしょうか。それにしても41本まで到達できたことはすごいことです

●注意していても脳梗塞に （山村さん）

森島さんから体を大事にしないとだめですよ、とよく忠告をいただいていた。また深田理事長からも十分注意して無理をすることなく一度くらい休養が必要ですよと強い口調でお話があった矢先の出来事であった。無理に勤務中の有田さんと連絡を取り、勤務帰りにハンマーモアを運搬してほしいと依頼した。忙しい帰り道、快く運んでいただいた。これで明日早朝に草刈りができると段取りができた。

ところがその夜、風呂に入ると右足が引っかかって足が上がらなかった。今度は湯船から上がる時にも右足が重く感じた。これまでこんな経験は一度もなかった。後から振り返るとこの時すでに脳に異変が起きていたのだという事であったらしい。夜具を敷いていると、どうも調子がおかしいので家族に話すとそれは異常だと判断して、すったもんだの末、妹の一言で、救急車で田辺中央病院へ、1時過ぎ 急遽MRI撮影など緊急対応、判断の結果、即入院となった次第。

振り返ると予兆は幾らもあった。それに気づかなかった私を恥ずかしく思う。

●同志社大学生 都築君の勇気に 応えようではないか

コロナ感染防止のためか大学当局はボランティア団体の活動のゴーサインを出してくれないのです。このままだとアイデアだけで終わらせることになりかねないので数人の仲間を集め、ことを実行する決意をして、里山の会に相談に来られたのです。彼らがやろうとしている新しい組織が結成されると今後の私達にとっても願っていた強力なつながりが生まれることになります。大変期待できることです。大いにできる限りの支援をさせていただきたいと協力すると返事しておきました。差し当たって京田辺市について学びたいとの意向でしたのでスライドを作ってみました。そしてリーダーの都築君は竹蛇籠づくりに参加をしてくれました。この体験から仲間といっしょに体験をすることになって11月8日に予定しました。10月15日に里山の事務所でスライドを撮影することになっていましたが、学校の都合（コロナ）で中止になりました。

●NHK 竹蛇籠取材、撮影

10月17日午前9時 NHKが竹蛇籠制作の様子を取材、撮影に来られます。

スタッフは8時15分集合で、準備を行います。竹門先生は午前中都合が悪く、午後からは出席していただける予定です。ご都合のつく方は是非、出席してご協力ください。

11月8日にもNHKが中聖牛組み立ての様子を撮影に来られます。

放映は竹蛇籠、中聖牛を合わせて10分程度の番組になるようです。楽しみにしていて下さい。

●イタセンパラ記者会見

10月19日午後2時から京田辺市役所、記者室でトヨタ環境活動助成プログラムの支援を受けて里山の会が行っているイタセンパラ復活のパンフレットが完成しましたので記者会見を行います。

会見には光田先生にお越しいただいて、里山の会からは太田さん、播川さん、金田さんが出席されます。資料として、イタセンパラパンフ、蛇籠制作呼びかけチラシ、中聖牛制作呼びかけチラシ、里山の会年譜を用意しようと思っています。

立命館宇治高校自然科学部訪問 イタセンパラ復活取り組み依頼

昨年の12月に大釜さんが立命館宇治高校自然科学部を訪ね、イタセンパラ復活の取り組みへの高校生の協力依頼に行っていたいただきましたが、その後のコロナ騒ぎで中断しておりました。10月13日に改めて学校訪問していただいたところ、顧問の先生は転勤移動で変わっておられましたが、大釜さんが詳しく説明してくださり、自然保護、自然回復に積極的に協力することを約束していただきました。高校生としての立場でどんな活動ができるのかはまだまだ未知数なところもありますが、イタセンパラ復活の活動の輪を広げるきっかけになるのではと期待しています。

●井手町役場へ イタセンパラ保全・再生 協力依頼

10月14日 理事の太田さんと播川さんが井手町役場の地域創生推進課を訪ね、イタセンパラの取り組みを説明し、イタセンパラの復活の取り組みが町おこしの力になれないかとの検討をお願いしてきました。その後、井手町教育委員会学校教育課長さんにもお会いし、イタセンパラのパンフレットで広報していただけないかとお願いしました。

●木津川希少種植生調査管理業務 草刈り作業は上流より木津川市の大曲まで終了しています。

●京田辺市民文化祭展示 10月31日 11月1日

里山の会では今年は「イタセンパラの復活をめざす」を中心に、あと木津川の希少植物写真も展示する予定にしています。

●会員調査 25年度を目途に 11月中に完了する

25年史を送付するに当たって現会員様そして現在会誌の送付に当たっても返送が多数発生しております。又、会費納入も多数滞っております。郵送料も値上がりしておりますので事務処理や再送の経費など、時間的にも事務作業にも努めなければならない状況にあります。

この際に事務量の軽減、財政の無駄をなくするために会員調査を実施いたします。ご面倒ですがご回答をお願いいたします。ご協力をお願い申し上げます。期日に返答なき場合は名簿から削除させていただきます。こうした皆様には賛助会員として記載させていただきます。以後賛助会員様にはメールでの週刊ニュースを送付させていただきます。今後のご協力をお願い申し上げます。